

どう展開、加工メーカー



C H鋼線、磨棒鋼は自動車
の重要保安部品を中心に
機械部品に幅広く使われ
る。C H鋼線はボルト、ナ
ットなど小型軸状部品の大
量生産に向く冷間圧造（C
H）や冷間鍛造の素材にな
り、磨棒鋼はシャフト類な
どに使われる。特殊鋼棒線
二次製品の代表格で、棒線
二次加工の中ではメーカー
数も比較的多い業界だ。

SteelIncメンバー会社
11社のうち7社(国内5社、
海外2社)はC H鋼線・磨
棒鋼メーカーが占める。連
結子会社の日鉄住金精鋼、
松菱金属工業、日鉄住金鋼
線、NBC中国(2015
年6月にNSCを稼働開始
し、移行してこく予定)、タ
イのNS SPTに加えて、
海外会社の出資・運営パー

⑤ C H鋼線・磨棒鋼 ①

「総合的な供給力」生かす

トレーサビリティも向上

トナーである独立系の宮崎
精鋼、持分法適用会社のサ
ンユウも名前を連ねてい
る。

「ブランドに頼るのではな
くブランドに恥じぬよう自
社を高めることが前提にな
る。新日鉄住金やSteelInc
を『全体ブランド』、メン
バー各社を『個別ブランド』
と捉え、個々が全体ブラン
ドを支える構図が理想的
だ」という捉え方も相通じ
るものがある。

各社は安定供給、高精度
とウインウインの関係を構
築し、長期にわたり安定的
でも自然災害の際は新日鉄
住金の複製
鉄所からの供
給が可能だ。
仮に当社が被
災した際に
は、他地区の
メンバー会社
に二次加工の
代替生産を依頼するなど危
機対応ができる」と、『総
合的な供給力』を代表例に
挙げる。

日鉄住金鋼線の伊藤良知
社長も「自動車産業では欠
かせない納期対応力に自信
がある。新日鉄住金の生産
状況がぶささに把握できる
迅速な対応で評価を得てお
り、今後は他製鉄所の素材
野雄紀

ランド戦略をどう捉えてい
るか。西野淳二サンユウ
社長は「需要家のニーズに
継続して応えていくために
も、参加企業としての自覚
を持ち、サンユウ自身のブ
ランドを高めていきたい」
とブランドの効果に期待す
る。

すまず高度化する顧客ニ
ズに日々対応している。神
原進日鉄住金精鋼常務は
「C H鋼線の微小な表面傷
程変更・鋼種変更のハード
ルが高くなっている現実も
ある。今回のブランド戦
略はお客様の工程まで踏み
込み、改善していくという
狙いがある。われわれに
ついてありがたい話」(メ
ンバー会社は今回のブ
・高品質、軽量化など、ま
築し、長期にわたり安定的
でも自然災害の際は新日鉄
住金の複製
鉄所からの供
給が可能だ。
仮に当社が被
災した際に
は、他地区の
メンバー会社
に二次加工の
代替生産を依頼するなど危
機対応ができる」と、『総
合的な供給力』を代表例に
挙げる。

日鉄住金鋼線の伊藤良知
社長も「自動車産業では欠
かせない納期対応力に自信
がある。新日鉄住金の生産
状況がぶささに把握できる
迅速な対応で評価を得てお
り、今後は他製鉄所の素材
野雄紀

今回のブランド戦略展開
を機に、新日鉄住金とメン
バー会社の間でトレーサビ
リティ(製造履歴)のレ
線に続いて磨棒鋼でも素材
ベルアップも計画されてい
る。例えば日鉄住金精鋼は
八幡製鉄所の素材に関して
トレーサビリティシステム
を構築済みで、顧客への
効な手立てとなることは確
実だ。(白木毅俊、伊藤健、佐

国内のC H・磨棒鋼製造拠点

